

A Letter from the Career

Guidance Office No14 May18

今日は、来年度の学部の新設・改組、受験科目の変更について紹介します。

関西学院大 理工学部➡理学・工学・生命環境・建築学部に分割・改組
京都橘大 工学部・経済学部・経営学部新設
大阪工業大 データサイエンス学科新設
大谷大 国際学部新設
桃山学院大 ビジネスデザイン学部新設
関西医科大 リハビリテーション学部新設
大阪医科大と大阪薬科大の統合➡大阪医科薬科大
大阪信愛学院大 新設

関西学院大学の理工学部の分割・改組が実施されますが、受験生の志望動向に大きな影響を与えそうです。次に入試科目の変更です。

関西学院大 活動記録など主体性の評価（調査書）を合否判定に一部の入試で利用
甲南大 文学部後期（3月）入試廃止
関西大 後期（3月）入試廃止
社会安全学部・人間健康学部・文学部で英語外部試験利用方式の新規実施
京都産業大 外国語学部で英語1科目型廃止

新入試制度では、調査書や志望理由書など、個人の主体性の評価が重視されるようになります。現在、これら主体性の評価については、参考程度という大学が多い中、関西学院大学では積極的にこれらの資料を活用していく方針を示しています（愛媛大学でも調査書などで主体性を積極的に評価の方針を表明）。また3月に実施されていた、いわゆる後期入試を廃止する動きも注目されます。

5月14日撮影

